腐食防食部門委員会
第 369 回例会

開催日　令和 8 年 11 月 16 日 (月)

主　　催：公益社団法人 日本材料学会
協　　賛:安全工学会, 化学工学会, 火力原子力発電技術協会, 近畿化学協会, 軽金属学会, ステンレス協会, 電気化学会, 日本化学会, 日本機械学会, 日本金属学会, 日本計算工学会, 日本原子力学会, 日本鋼構造協会, 日本材料科学会, 日本伸銅協会, 日本船舶海洋工学会, 日本鋳造工学会, 日本鉄鋼協会, 日本電子材料技術協会, 日本バイオマテリアル学会, 日本非破壊検査協会, 日本表面真空学会, 日本プラントメンテナンス協会, 日本分析化学会, 日本防錆技術協会, 日本保全学会, 日本溶射学会, 日本溶接協会, 表面技術協会, 腐食防食学会, 溶接学会
日　　時：令和 8 年 11 月 16 日 (月)　12:45～16:30
会　　場：大阪府教育会館 たかつガーデン 地下1階オリーブ
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7番11号
TEL: 06-6768-3911
（近鉄「大阪上本町」駅から徒歩約5分，Osaka Metro 谷町線「谷町九丁目」駅から徒歩 約8分.
https://www.takatsu.or.jp/access ）

腐食防食部門委員会の法人委員・個人委員はオンラインでの視聴も可能とします。

主　　題：「腐食防食分野における数値シミュレーションの最新動向」
内　　容：腐食シミュレーションに関する研究の歴史は古く、現在も開発が進められており、シミュレーションに基づいた腐食機構の解明や寿命予測などへの活用が期待されている。しかしながら腐食現象は複雑かつ多種多様であるため数値モデル化が難しく、さらに解析に必要なパラメータの実測が困難な場合があるなどの課題がある。そのため研究者が腐食現象の数値シミュレーションを自由に実施できる状況には至っていない。本例会では当該分野で活躍されている 4 名の講師に腐食現象の数値シミュレーションについて解説いただき、最新の研究動向を把握するとともに、腐食防食の分野で行われている数値シミュレーションに関する理解を深めるきっかけとしたい。

― プログラム ―

Business Meeting　12:45～13:00
（司会 土谷博昭 大阪大学）
1. マルチフィジックス数値解析によるすきま腐食および孔食の現象理解　13:00～13:50
天谷賢治 東京科学大学
2. 第一原理計算による腐食研究 ～実験研究をどう補完し、何を予測できるのか～　13:50～14:40
五十嵐誉廣 日本原子力研究開発機構
休　憩　14:40～14:50
（司会 桑水流 理 福井大学）
3. 有限要素シミュレーションを活用した金属材料の腐食解析　14:50～15:40
門脇万里子 物質・材料研究機構
4. 腐食反応を駆動力とした金属すき間内のアニオン濃縮挙動の実験及び計算による分析　15:40～16:30
相馬康孝 日本原子力研究開発機構

腐食防食部門委員会会員以外の方は, 参加費を戴きます.
日本材料学会・協賛学会会員: 5,000 円
その他 非会員: 10,000 円
【申込先】〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町 1-101
公益社団法人 日本材料学会
E-mail: jimu@ffice.jsms.jp
申し込み期限：令和8年11月6日 正午（厳守）